



# 生活支援コーディネーター はやま一色歩き

令和7年3月発行

社会福祉協議会 一色地区のコーディネーターが、一色地区の情報や活動する団体などを分かり易くお知らせしています。

## 「一色まち歩き」庚申塔と道祖神をめぐる 編

特集号

実教寺



鎌倉時代、日蓮上人  
が休息をとったといわ  
れる由緒ある寺



「私たちの住む一色地区をもっと知ろう」という目的で企画された「町あるき」の第2弾が2/16(日)に開催されました。今回は「庚申塔と道祖神をめぐる編」です。町内を歩いている時、道の傍らに不思議な石塔を見たことはありませんか? 「これは何?」と不思議に思っていた謎の石塔。一色地区にも多数見られる「庚申塔」と呼ばれる石塔の解説を受けながら、普段は通ることが少ない葉山らしい小道を2時間半かけて歩きました。ゴールの玉蔵院では、地域の店舗にご協力いただき提供できたコーヒーと焼き菓子でティータイム。希望した方はお弁当を食べる、というのが今回のコースです。

出発前は雨がちらつきましたが歩き始めてからは次第に気温も上がり、素晴らしい天気にも恵まれ和気あいあいと終了することができました。



平松地藏  
江戸時代有名だった平松  
の古松の根で作られた。  
旧字名「平松」の由来は  
この松から。



夜泣き石脇の庚申塔  
と六地藏

お参りすると  
夜泣きが止む？



白石の庚申塔



新明社の庚申塔



町内で最大！



玉蔵院の庚申塔

葉山で最古！



ナビゲーター 宮崎 恵之助 氏  
(郷土史研究家)

葉山には、本来あった場所に、  
そのままの姿で残る「庚申塔」が数多  
くあります。これは、大変珍しく素晴  
らしいことです。

今回の「町あるき」への参加は、住  
民の皆さんとの交流により私にとり  
ましても「学びの場」となりました。

記念写真の後は玉蔵院のお座敷を借りて  
お茶とお菓子をいただきながら、おしゃべ  
りを楽しみました。



今回の町歩きには26名の住民の方が参加、スタッフを入  
れると34名の大人数での移動になりましたが、  
皆様のご協力により事故もなく、途中リタイアする  
方もなく無事終わることができました。見えないところで  
サポートしてくださった方も含め、有難うございました。

「はやま一色歩き」は葉山町社会福祉協議会のホームページからみることができます

生活支援コーディネーターとは高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、生活支援・  
介護予防の体制づくりを進めるのが仕事です。具体的には地域の特性や高齢者の困りごとを把握し  
ネットワークづくり、ニーズと取り組みのマッチングなどを行います。皆さん、気軽に声をかけてください。